



電話機レコードの確認

[電話の確認] を選択すると、システムは確認ルーチンを実行して、CSV データ ファイルと Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) 電話機テンプレートが、デバイスプールやロケーションなどのすべての必須フィールドを指定しているかどうかをチェックします。確認ではさらに、最初のノードのデータベースとの不一致がないかどうかをチェックします。

始める前に

- 追加するデバイスの BAT 電話機テンプレートが必要です。単一回線または複数回線を持つ電話機を追加するには、複数回線を持つマスター電話機テンプレートを使用できます。詳細については、[P.1-5](#) の「[マスター電話機テンプレート](#)」を参照してください。
- 電話機または他の IP テレフォニー デバイスに固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。

CSV データ ファイルの電話機レコードの確認

CSV データ ファイルの電話機レコードを確認する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [電話] > [電話の確認] の順に選択します。

[電話の確認 (Validate Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [電話固有の詳細の確認 (Validate Phones Specific Details)] オプション ボタンをクリックし、カスタマイズされたファイル形式を使用する電話機レコードを確認します。ステップ 4 と 5 に進みます。

ステップ 3 [電話すべての詳細の確認 (Validate Phones All Details)] オプション ボタンをクリックして、[すべての詳細] オプションを使用して生成したエクスポート電話機ファイルから電話機レコードを確認します。

ステップ 4 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リストボックスで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 5 [固有の詳細] オプションを選択した場合は、[電話テンプレート名 (Phone Template Name)] ドロップダウン リストボックスで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。

ステップ 6 [送信] をクリックすると、選択した CSV データ ファイルと最初のノードのデータベースが検証されます。

ステップ 7 ジョブが即座に送信されて実行されます。

ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.65-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.5-2 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- [CSV データ ファイルの電話機レコードの確認 \(P.5-2\)](#)
- [電話機テンプレート](#)
- [電話機のファイル形式](#)